

ジメジメ、ベタベタのうっとうしい梅雨が続いていますが、もう7月ですね！

7月といえば七夕、保育園にも笹の葉が飾られ、子ども達を書いた願い事の短冊がたくさんさがっています。願い事が天に届き、かなうといいですね。

6月の感染症

溶連菌感染症2名 手足口病1名

ともに、1才児クラスで出ていましたが、感染することなく収束しました。

感染症サーベイランスによると、都内で“手足口病”の感染が増加傾向にあるようです。

手足口病は夏季がピークに流行する感染症です。飛沫感染、糞口感染（経口）、接触感染で、回復後も呼吸器から1～2週間、糞便から2～4週間に亘り排泄されます。

排泄物の取り扱いに注意するとともに、手洗いを励行しましょう。

プール、水遊びが開始される中、手足口病、ヘルパンギーナも同様の感染なので、かかった場合は保育園の出席停止はありませんが、幼児さんはプール遊びを感染後、程度により1、2週間はお休みしていただくこととなります。・・・感染症ガイドラインから

熱中症に注意しましょう・・・

熱中症とは、高温多湿の環境下で体内の水分や塩分（ナトリウム・・・）のバランスが崩れたり、体温の調節機能がうまくはたらかず、体に熱がこもり、大量の発汗から突然汗が出なくなり、吐き気、倦怠感などの症状が現れます。重症化すると、意識障害を起こし、死に至る危険性があります。また、熱中症は梅雨の合間に突然気温が上昇した日や、梅雨明けの蒸し暑い日など、からだ暑さに慣れていないときに起こりやすく、特に注意が必要です。

予防

○外で遊ぶ時は、なるべく日影の涼しい場所を選びましょう。

○休息と水分補給をこまめにとりましょう。

○通気性がよく、襟元にゆとりのある服を着ましょう。太陽光の下では、輻射熱を吸収して暑くなる黒色系の服は避けましょう。

○つばの広い帽子をかぶり、日影では帽子を脱いで、熱がこもらないようにしましょう。



熱中症が疑われたら

- 涼しい場所に移動し寝かせ、衣服を緩める
- 少量の水分（経口補水液、イオン飲料）をこまめに与える
- からだを冷たいタオルで拭き、うちわなどで扇ぐ。
- 首やわきの下、足の付け根に冷たいタオルを当てて、体を冷やす。

※呼びかけても反応がない、ぐったりしている、水が飲めない、体温が 40℃を超えている、けいれんを起こす・・・急いで受診するか、救急車を呼びましょう。

東京都福祉保健局からの情報提供

6月15日から6月21日までの期間、都内において伝染性紅斑（りんご病）が警報基準を超えました。患者の約71%が6歳以下の小児となっており、注意が必要です。

伝染性紅斑とは・・・

皮膚の発疹を主症状として、両頬がりんごのように赤くなることから別称“りんご病”と呼ばれています。

症状：約10日の潜伏期間の後、両頬に赤い発疹が現れ、体や手・足に網目状の発疹が広がりますが、これらは、1週間程度で消失します。

※頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状が見られ、この時期にウイルスの排出が多くなり、発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低くなり、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（初期）に感染した場合、まれに胎児の異常や流産が生じることがあるので、園で流行し始めたら、マスクをしての来園が望ましいでしょう。

7月8月保健行事

- 7/6（月）身体測定（2～5才児）
- 7/10（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 7/13（月）地域・0才児健診
- 7/14（火）身体測定（0,1才児）
- 7/17（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 8/4（火）身体測定（2～5才児）
- 8/7（金）身体測定（0,1才児）
- 8/17（月）0才児健診

8月は、地域ベビーマッサージ・身体測定・健診はお休みです。

